

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 764 事業名 和歌の浦アート・キューブ管理運営事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		和歌の浦アート・キューブ費	
	大事業		和歌の浦アート・キューブ事業費	
事項		和歌の浦アート・キューブ管理運営事業		

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
取組	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	富松 真矢子 (435-1194)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容					
事業概要	和歌の浦アート・キューブを安全に利用できるよう維持管理する。		和歌の浦アート・キューブを安全に利用できるための維持管理事業 ・平成15年1月開館 ・総工費 563,430千円 ・鉄筋コンクリート造 ・地上2階 ・多目的ホール（キューブA）、制作室（キューブB1・C1）、展示室（キューブD1）、音楽室（キューブB2）、練習室（キューブC2・D2）、その他				
	実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施 演劇ワークショップ 平成21年1月11日 12日 参加者 28名 来場者 150名 5周年記念事業 (舞台発表、作品展示) 平成20年9月13日 ～ 15日 参加者 16団体 来場者 2,000名		管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施	管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施	管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施	管理事業 施設、附属設備の貸し出し 施設の維持管理 自主事業の実施		

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	48,161	48,106	48,289	48,232	48,662	48,818	45,037			
伸び率 (%)	-	-	0.3%		0.8%		-7.4%			
人件費	常勤職員	22,094	776		2,072	2,072	1,366	1,366		
	非常勤職員	1,995	129							
	小計	24,089	905		2,072	2,072	1,366	1,366		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	9,737	10,094	9,737	8,541	9,747	9,483	9,812			
一般財源(税等)	38,424	38,012	38,552	39,691	38,915	39,335	35,225			
所要人数	常勤職員	2.88	0.1		0.27	0.27	0.18	0.18		
	非常勤職員	1.03	0.07							

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	自主事業開催数	年度目標値			10	10	10	10	10	
		実績値			15	13	9			
	単位	回	全体目標値		全体目標達成度	110.1%	年度別達成度	96.2%	129.4%	104.7%
成果指標	入場者数	年度目標値			50000	50000	50000	50000	50000	
		実績値			32840	48314	38592			
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度	79.8%	年度別達成度	65.6%	96.6%	77.2%
	利用件数	年度目標値			3500	3500	3500	3500	3500	
		実績値			3367	4529	3663			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	0.0%	年度別達成度	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	個性的な建物であり、市民会館とは異なった性格の文化活動の拠点として利用されている。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	